

学校名	鹿島市立鹿島小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	- 学力の向上：自己選択・自己決定の場面を設けた活動の継続、授業と運動した家庭学習への変換、読書習慣の形成・読書意欲の喚起 - 豊かな心の育成：学年人権教育の計画的運用（多文化理解・違いの許容等）、いじめ防止対策の充実（いじめアンケートから教育相談アンケートへの変換）、教育相談週間の効果的活用 - 健やかな体作り：行事と授業の運動及びスポーツチャレンジへの計画的取組（年間計画の見直し、学習カードの共有）よりよい生活習慣の形成、危機回避能力の育成 - 愛郷心の育成・コミュニティスクールの充実：ふるさと「鹿島」への愛着と誇りの育成、地域や外部人材を活用した体験・交流活動の計画的運用（教育課程の見直し）、学校運営協議会・PTAと協働した開かれた学校作りのさらなる推進 - 働き方改革：学年協働による子どもに向き合う時間及び教材研究の時間の確保（行事の目的の明確化）、会議時間の短縮のためのシステム再構築、時間外在校等時間の上限の遵守
------------------	---

2 学校教育目標	いのち輝く 鹿島っ子の育成 ～「気づき・考え・決めて・行動！」自分たちの学校は自分たちでよりよくする（自治力の向上）～
----------	---

3 本年度の重点目標	①学力の向上 ②志を高める教育活動の推進 ③豊かな心の育成 ④健やかな体作り ⑤特別支援教育の充実 ⑥かしま愛の育成、コミュニティ・スクールの充実 ⑦教職員の指導力向上と業務改善（働き方改革）
------------	---

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見直し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ○読書意欲の喚起につながる授業づくりと読書習慣の形成	○学習を振り返り、次の学びにつなげようとしている児童80% ○学年目標冊数の本を読んでいる児童80%				・		・	・研究主任（堀川） ・図書主任（川崎）		
	○学習規律の確立 ○授業と運動した家庭学習の充実	○学校では落ち着いて勉強することができる児童95% ○1日に自分で決めた時間学習している児童80%									
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○自分のよいところや頑張っているところを言える」と回答した児童85%以上 ○相手が悲しむ言葉や言い方をせず、だれにでも温かく、丁寧な言葉づかいができた児童95% ○感謝の気持ちをもち「ありがとう」と言えた児童90%				・		・	・人権同和教育（中原） ・道徳推進（中原）		
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○学校が楽しいと感じている児童95% ○相手の気持ちを考えた言動できた児童95%									
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれたと思う」と回答した児童80%以上 ●○「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上 ○自分のよいところや頑張っているところを言える」と回答した児童85%以上 ○友達やクラス、学校、回りの人のために自分から進んで動くことができた児童95%									
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	①授業以外で運動や外遊び、徒歩通学、散歩などを行う時間が1週間で420分以上の児童97%以上。 ②「健康に良い食事をしている」児童生徒95%以上。				・		・	・豊かな心部（岩永・石井・井手） ・体づくり部（有森ひ・坂元） ・給食主任（永池）保健主事（中村）		
	○「望ましい生活習慣の形成」 ○「安全に関する資質・能力の育成」	○誰にでも、気持ちのよいあいさつや返事をした児童95% ○避難訓練等で学んだことを意識し、安全に気を付けて学校生活を送っている児童95%以上									
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 ○児童と向き合う時間や教材研究の時間の確保に向けた業務の効率化								●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上 ○タブレット端末活用し、授業準備や事務処理の短縮につなげることができた職員95%以上	
●特別支援教育の充実	○合理的配慮の充実とユニバーサルデザインの視点に立った指導・支援の推進 ○全職員での情報共有と校内支援体制の充実	○配慮を要する児童への指導を工夫できた」職員95% ○児童の情報共有特別支援を各学年チームで週1回以上									
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見直し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○かしま愛の育成	○地域や外部人材を活用した体験・交流活動の充実によるふるさと鹿島を思う学習の推進	○地域の方と楽しく交流し、鹿島のよいところ・自慢を知っている児童90%				・		・	・教務		
○地域連携（コミュニティ・スクール）の強化	○学校運営協議会・PTAと協働した開かれた学校づくりの充実	○学校運営協議会を年に3回開催し、熟議したことを学校運営に生かす ○管理職、指導教諭で、かんらんや鹿島公民館を月1回巡回し、情報共有を行う。									
									・教頭		

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------